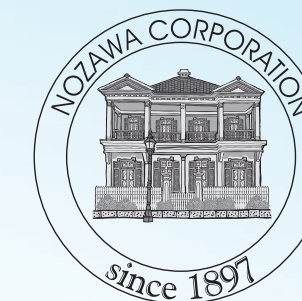


株主のみなさまへ



第160期 中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当(期末配当金)の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
インターネットホームページ	https://www.tr.mufig.jp/
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.nozawa-kobe.co.jp 不測の事態により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第2部

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お手続き・お問い合わせ先
●お取引の証券会社等の口座で管理されている当社株式に関する配当金振込指定、単元未満株式買取請求、住所変更等のお手続き	お取引口座を開設されている証券会社
●未受領の配当金に関するお手続き ●特別口座で管理されている当社株式に関する配当金振込指定、単元未満株式買取請求、住所変更等のお手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)

特別口座について

特別口座では、株式のご売却はできません。証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも当該証券会社で一括して行えるようになり便利です。

この報告書についてのお問い合わせは右記までお願いいたします。株式会社ノザワ TEL 078-333-4111



この報告書は、環境に配慮した植物油インキを使って印刷しています。

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第160期中間期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の「中間報告書」をお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長
野澤 俊也



海外事業は、中国国内の景気減速に伴う建築計画の延期・中止等の影響を受け、中国における「アスロック」販売は厳しい状況で推移しました。

マインケミカル事業では、ミネラル肥料「マインマグ」は北海道・東日本を中心に伸長し、「マインマグ」売上高は上半期最高を更新しました。

これらの結果、品種別売上高については、主力の押出成形セメント板「アスロック」は68億67百万円(前年同期比15.2%減少)、住宅用軽量外壁材は12億98百万円(前年同期比8.4%増加)となり、押出成形セメント製品合計では81億66百万円(前年同期比12.2%減少)に、耐火被覆等は4億83百万円(前年同期比24.1%減少)、スレート関連は4億32百万円(前年同期比3.1%増加)となったこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は107億92百万円(前年同期比9.5%減少)となりました。

利益面については、上記の売上高の減少に加え前年より続く物流費等の高騰、人件費の増加等により、営業利益は3億67百万円(前年同期比73.7%減少)、経常利益は3億79百万円(前年同期比73.0%減少)となりました。また、火災に関し、特別利益に保険差益5億32百万円、特別損失に火災関連損失6億35百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億82百万円(前年同期比70.1%減少)となりました。

通期の見通し

2020年3月期の連結業績につきましては、売上高225億円、営業利益11億20百万円、経常利益11億円、親会社株主に帰属する当期純利益8億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当第2四半期の取り組みと業績

建築材料業界におきましては、建設投資は堅調を維持しているものの、技能工不足による人件費の増加等による建設費高騰は収まりを見せず、予断を許さない状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは「やすらぎと安心の創造」のコーポレートメッセージのもと、環境負荷低減と施工現場省力化を実現し、社会に貢献する商品の拡充に努めてまいりました。

発売以来ご好評を得ている当社オリジナルの業界初の省力化工法「アスロックLS工法」に、従来では対応できなかった高層建物への仕様を加え、本年10月に発売いたしました。高耐久クリップ「HZクリップ」を連結する技術を開発することで建物高さ31m以上の高層建物にも「LS工法」が適用可能となり、中低層から高層建物まで幅広く「LS工法」をご採用いただけます。

また、施工現場の作業効率化・現在深刻化している技能工不足に寄与する「アスロック無溶接工法」を2020年1月より発売いたします。従来の工法ではパネル留付クリップを溶接で固定していましたが、ワンタッチで簡単に取り付けられる「NR金具」を使用することで、アスロックの健全な留付状態を維持しながら溶接工程を省略することができ工法を開発、溶接資格保有者不足への対応と施工効率化に貢献します。

生産部門では、本年5月10日に当社埼玉工場で火災事故が発生しましたが、迅速な復旧に努め、被災設備工程を除き5月16日に稼働再開し、被災設備を含めた本格稼働を7月7日に開始、「アスロック」の供給能力は火災前の状態に戻っております。

販売部門では、当火災の影響等により、「アスロック」販売は前年を下回る状況で推移しました。

管理部門では、システムの構築・改善による業務効率化、資材調達

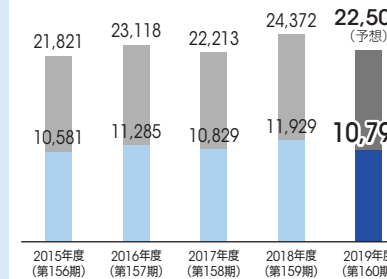
連結財務ハイライト

売上高

10,792 百万円

前年同期比 9.5% 減

第2四半期累計 通期 (百万円)

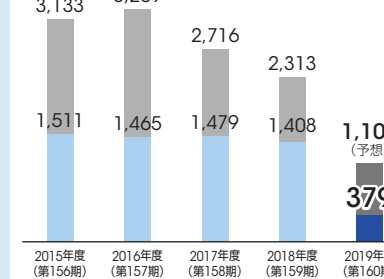


経常利益

379 百万円

前年同期比 73.0% 減

第2四半期累計 通期 (百万円)

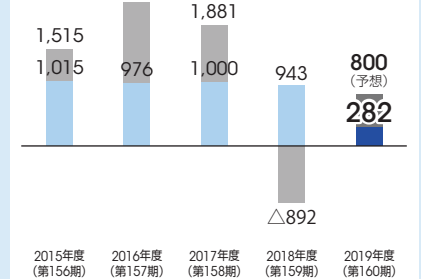


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

282 百万円

前年同期比 70.1% 減

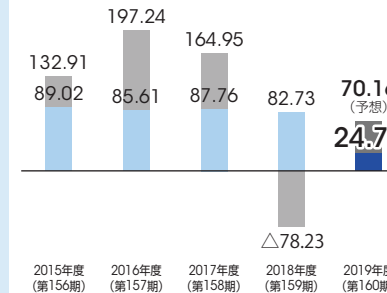
第2四半期累計 通期 (百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益

24.76 円

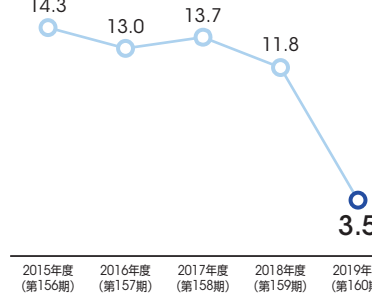
第2四半期累計 通期 (円)



売上高経常利益率(第2四半期累計)

3.5 %

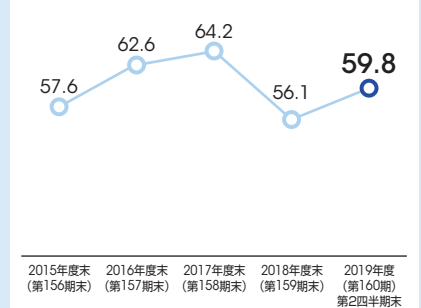
(%)



自己資本比率

59.8 %

(%)



(注) 2016年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行いました。2015年度(第156期)の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

インバウンド拡大により宿泊施設の受注が好調!
全国各地で多くの宿泊施設にアスロックをご採用いただいております。



建物名称: Dタワー豊洲
使用品種: タスロック
ストライプライン
プライムライン
フラット(600,900幅)
カラーフロン工場塗装仕上げ
場 所: 東京都江東区



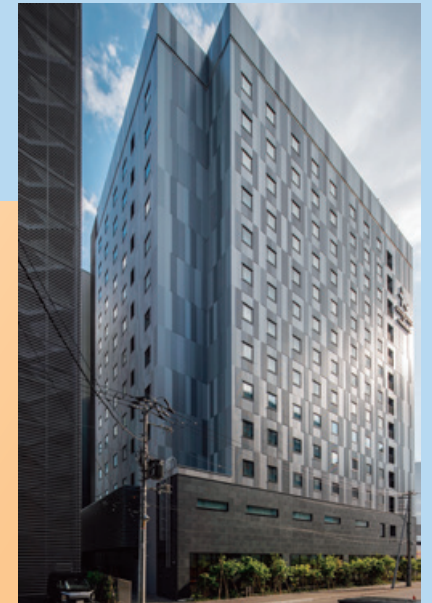
建物名称: ホテルインターゲート金沢
使用品種: プライムライン
ストライプライン
タスロック
リブロック4
フラット(600,900幅)
現場塗装仕上げ
場 所: 石川県金沢市



建物名称: ホテル呉竹荘 広島大手町
使用品種: フラット600幅
カラーフロン工場塗装仕上げ
場 所: 広島県広島市



建物名称: Jヴィレッジホテル
(アネックス棟)
使用品種: タスロック
ストライプライン
アスロックタフ
フラット(600,900幅)
現場塗装仕上げ
場 所: 福島県双葉郡



建物名称: ベッセルホテル
カンパーナすすきの
使用品種: プライムライン
フラット
(450,500,600,625,900幅)
レールファスナー工法
(石張り仕上げ)
現場塗装仕上げ
場 所: 北海道札幌市
撮 影: Takehiro Kawamura



建物名称: 天神東宝ビル
(リッチモンドホテル天神西通)
使用品種: タスロック
ストライプライン
レフスカイミニ
カラーフロン工場塗装仕上げ
場 所: 福岡県福岡市
撮 影: 株式会社竹中工務店

火災により損傷した埼玉工場の設備は 現在、正常に稼働しております。

今回の火災により株主の皆様をはじめ多くの皆様にご迷惑をおかけしたことを重く受け止め、再発防止対策を策定し全社員で取り組んでおります。

2019年5月10日 当社埼玉工場において火災発生
1号機オートクレーブ及び冷却工程の製造設備が被災

原因

1号機ラインオートクレーブ出口側のふた開閉用油圧装置から漏れた油が、オートクレーブ養生装置に巻いた保温材にしみ込み、養生装置に触れた油が保温材内で発火点を超え、発火しました。



被災設備の状況(撮影:2019年5月14日)

敷地面積：46,486㎡
建屋面積：22,419㎡
延焼面積：750㎡

5月16日 被災設備工程を除き、稼働再開

6月25日 設備の復旧

7月7日 被災設備の本格稼働

全社及び外部協力業者を含め総力を挙げ、復旧作業にあたりました。

本格稼働を開始し、設備が正常に稼働することを確認、公的機関による品質確認も完了、供給能力は火災前の状態に戻りました。



復旧したオートクレーブ設備

高層向けアスロックLS工法※を10月より販売開始!

特許第6211312号、第6397081号 登録済

従来のLS工法は、中低層(31m未満)の建物に限られていましたが、中低層+高層(60m)の建物でご利用いただけるようになりました。

※LS工法は、在来標準工法に比べ約30%の施工省力効果が期待できます。

新たに高層建物に対応

新仕様

(ハイパーゼット)
HZクリップ仕様



従来仕様

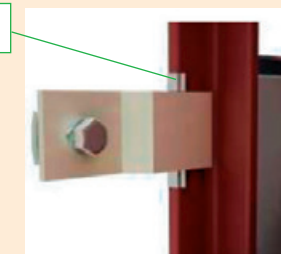
Zクリップ仕様



施工効率化をさらに強化 アスロック無溶接工法 2020年1月販売開始!

無溶接工法を2020年1月より販売開始します。NR金具を使用することで溶接工程を不要とし、アスロックの取付施工において最大16%の工期短縮となります。

NR金具



無溶接標準横張り工法

埼玉工場出荷棟を新設

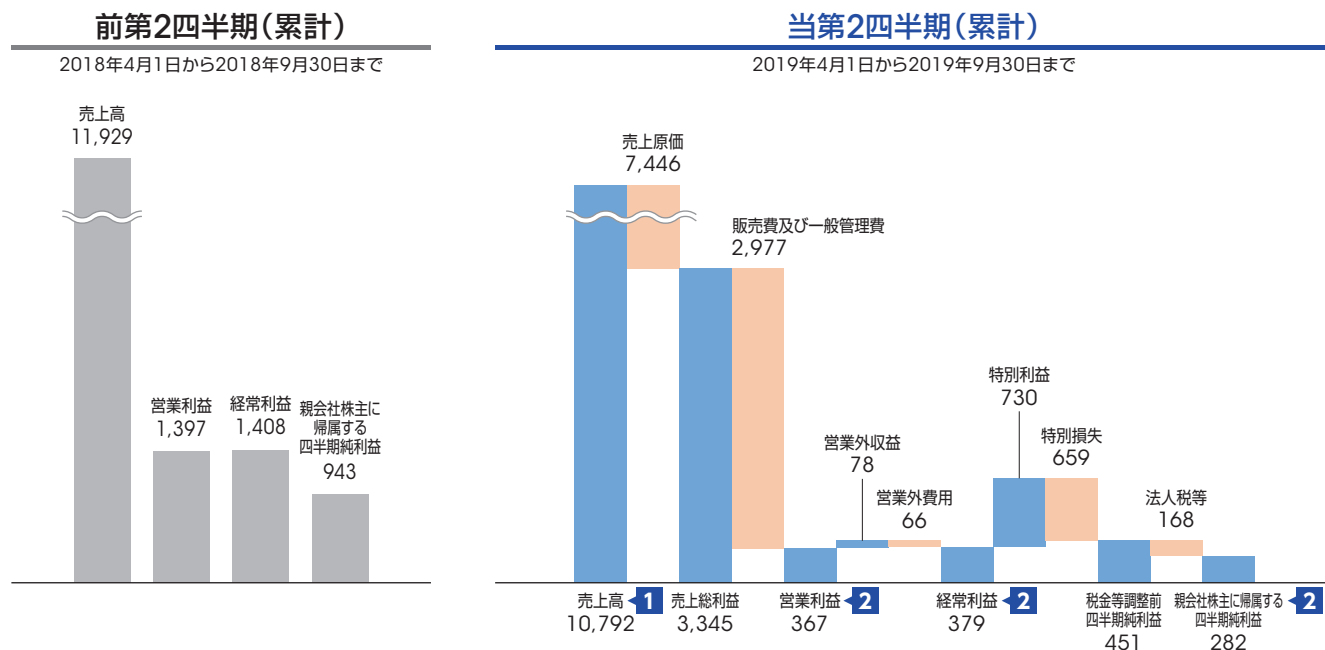
埼玉工場に工場塗装品専用出荷ヤードとして出荷棟を新設しました。本年9月より稼働を開始、工場全体の出荷効率向上に寄与しています。



埼玉工場出荷棟

POINT

四半期連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



POINT

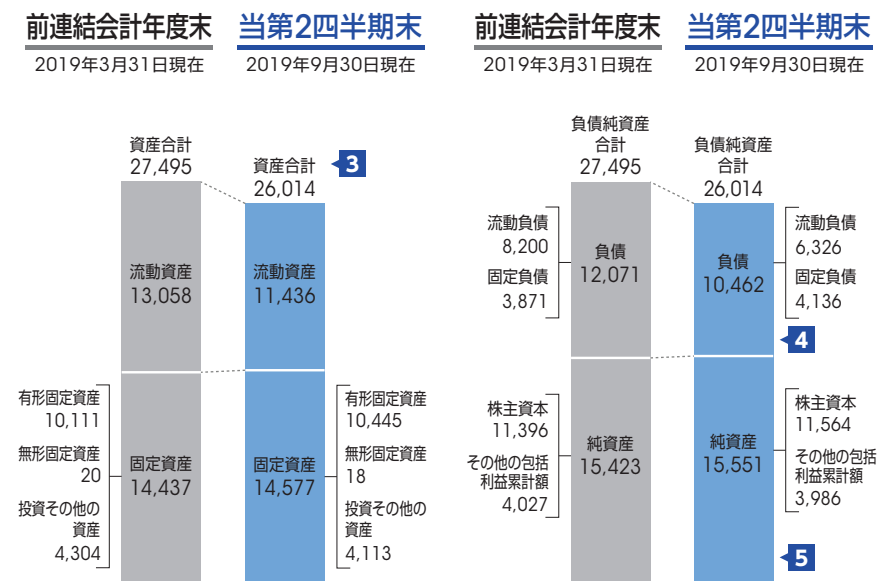
1 売上高の状況

品別売上高については、主力の押出成形セメント板「アスロック」は68億67百万円(前年同期比15.2%減少)、住宅用軽量外壁材は12億98百万円(前年同期比8.4%増加)となり、押出成形セメント製品合計では81億66百万円(前年同期比12.2%減少)に、耐火被覆等は4億83百万円(前年同期比24.1%減少)、スレート関連は4億32百万円(前年同期比3.1%増加)となったこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は107億92百万円(前年同期比9.5%減少)となりました。

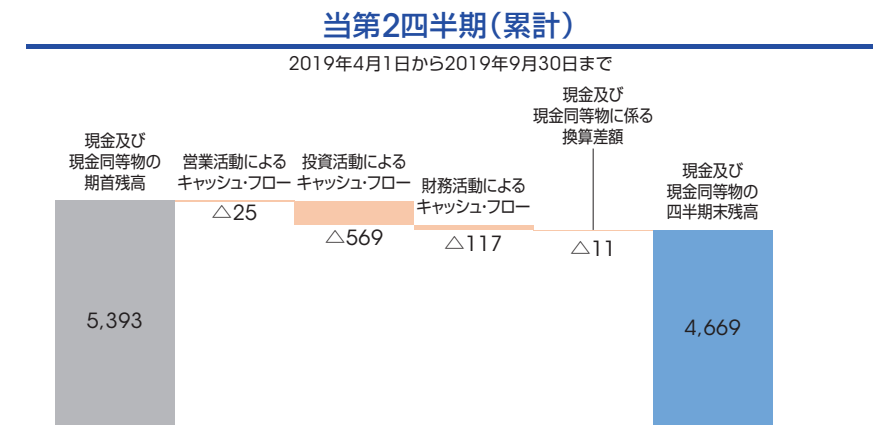
2 利益の状況

売上高の減少に加え前年より続く物流費等の高騰、人件費の増加等により、営業利益は3億67百万円(前年同期比73.7%減少)、経常利益は3億79百万円(前年同期比73.0%減少)となりました。また、火災に関し、特別利益に保険差益5億32百万円、特別損失に火災関連損失6億35百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億82百万円(前年同期比70.1%減少)となりました。

四半期連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3 資産の状況

「受取手形及び売掛金」が18億96百万円減少したこと等により、「資産合計」は、前連結会計年度末に比べ14億81百万円減少し260億14百万円となりました。

4 負債の状況

「火災関連損失引当金」が5億4百万円増加したもの、「製品補償引当金」が17億71百万円、「支払手形及び買掛金」が4億7百万円減少したこと等から、「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ16億9百万円減少し104億62百万円となりました。

5 純資産の状況

「利益剰余金」が1億68百万円増加したこと等から、「純資産合計」は、前連結会計年度末に比べ1億27百万円増加し155億51百万円となりました。

6 連結キャッシュ・フロー計算書の状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少額18億6百万円等の資金の増加要因があった一方、製品補償引当金の減少額17億71百万円等の資金の減少要因があったこと等から、25百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出5億60百万円等により5億69百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、親会社による配当金の支払等により1億17百万円の減少となりました。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、46億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億24百万円減少となりました。

(2019年9月30日現在)

会社概要

社名 株式会社ノザワ
NOZAWA CORPORATION

創業 1897年8月17日

設立 1913年9月28日

資本金 24億4,900万円

従業員数 378名(連結)

子会社 株式会社ノザワ商事
株式会社ノザワトレーディング
野澤貿易(上海)有限公司
野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司

ネットワーク

●本社 〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地 TEL 078-333-4111(代)

●支店・営業所

札幌支店 札幌市中央区大通西1-14-2 (桂和大通ビル50)

仙台支店 仙台市青葉区一番町2-8-15 (太陽生命仙台ビル)

東京支店 東京都中央区新川1-4-1 (住友不動産六甲ビル)

名古屋支店 名古屋市中区錦2-4-15 (ORE錦2丁目ビル)

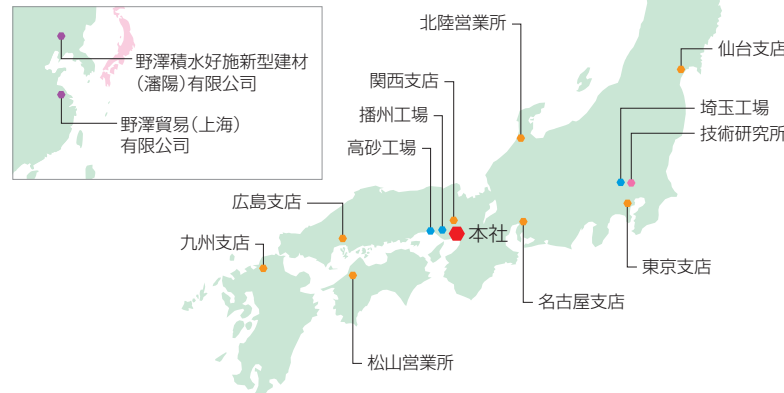
北陸営業所 金沢市本町1-5-1 (リファール)

関西支店 神戸市中央区浪花町15番地

広島支店 広島市中区小町3-25 (三共広島ビル)

松山営業所 松山市大手町2-9-4 (石丸ビル)

九州支店 福岡市博多区博多駅前1-4-4 (JPR博多ビル)



役員

代表取締役社長 野澤俊也

常務取締役 坂本茂紀

常務取締役 三浦竜一

取締役 佐々木三七司

取締役 肥後竜也

取締役 松村正昭

取締役 西岡誠司

取締役 濱本康二

取締役 米田剛三

社外取締役 羽尾良彦

社外取締役 小松永田

社外監査役 松田眞秀

社外監査役 吉檀上秀逸

(2019年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株

発行済株式の総数 12,075,000株

株主数 3,333名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社三井住友銀行	567	4.97
神栄株式会社	486	4.26
日本生命保険相互会社	436	3.82
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	398	3.49
CBC株式会社	301	2.64
日工株式会社	284	2.49
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	262	2.30
株式会社トクヤマ	262	2.30
ノザワ従業員持株会	259	2.27
株式会社SBI証券	243	2.13

(注) 持株比率は自己株式(671,825株)を控除して計算しております。

ホームページのご案内

URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp>

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様にわかりやすい情報発信に努めてまいります。

URL <http://www.asloc.co.jp>

当社主力商品の押出成形セメント板「アスロック」の特設サイトです。

株式分布状況

